



新年への豊富と希望込めて
習字教室 書き初め

仰 春

まさに「春」を思わせる暖かい年末は年始の 日々でした。でも、寒さのピークこれから。最近の「異常気象」を考えると、こんなささやかな喜びさえ、いささか不安を感じてしまう。何とも皮肉な社会です。年末の「年金カット法」成立で高齢者の生活も先行き不安が増大しそう。所得格差と子どもの貧困、平和への不安も続きます。でも、心新たに、一丸で前進しましょう！ 幸せな明日を実現するため！

Minatogawa
みなとがわ
港川自治会だより
発行／港川自治会（公民館）〒777-0001 徳島県美波町港川三六番地
090-9090-2102（総機）／090-9090-4604（携帯）

17年1月
第271号



展示会への出品作品も兼ねた書き初め（公民館）。

新成人みんなで祝おう

21日 放課後子ども教室

教室開設10年を節目に昨年から行われてきましたが、今年も先輩、後輩らが集まりささやかな小宴で門出を祝う準備をしています。午後7時から公民館で。参加費無料

お帰り！久しぶりの再会楽しむ

正月里帰りの高森きょうだい
公民館、友に「ふる里」実感



高森菜摘さん（まな・高校1年生）は4年前、父の転勤に伴い港川から愛知県に移転。それまで2人の弟（中2、小4）妹（小6）も一緒に公民館のエイサー教室に通うなど地域で活発に活動してきた。年末の28日、公民館を訪れたが、懐かしい顔ぶれに終始笑顔があふれ、一緒に踊りや会食を楽しみました。（右写真＝公民館でエイサーを楽しむ高森姉妹（手前右側が姉の菜摘さん、手前が妹 菜摘さん））

赤十字活動などで県知事賞

玉城瀬梨奈さん（那覇商高2年）

嘉陽宗保さん（1班）の孫。小学生から中学までは公民館でサンシンに親しんでいたが、高校進学後は生徒会役員や赤十字奉仕 活動などで活躍。持ち前の明るい性格を存分に活かして現在県青少年赤十字高校協議



会代表もつとめリーダー的存在。
瀬梨奈さんは「今後は

ゆいぐみ ときどき閑話

市長選、市議会議員選まで1ヶ月を切った。市長選の争点はやはり軍港移設、西海岸開発計画とそれを巡る「公約の重み」だろうか？港川が提起している西海岸の自然海浜を活かした「浦添の新しいまちづくり」など論外のように「埋立計画ありき」の対立に終始している。現職の「公約違反」を指摘する新人も、公約の「計画白紙化」推進ではなく「早急な埋立推進」軍港は「市民投票で判断」という。既に市民意識の変化は前回選挙で「白紙化」として示され、それを覆して「埋立開発」「軍港受入」と変えたから「公約違反」と批判してきたはず。矛盾を感じる。

市民的議論がなされてこなかった「軍港問題」で再度の市民投票が必用なら、西海岸開発計画も全く同じである。同計画策定では、キンザー返還も前提になくイノの市民的活用事例も殆ど皆無の状態だった。まさに「前時代の計画」そのもの。それを「計画ありき」で推進しようとしている。港川には受け入れがたい選択と云わざるを得ない。

地域にも目を向けていきたい」と意欲を語っていました。写真。高校からの推薦での受賞。おめでとう！

今年もアサ汁で歓迎

2月4日（土）でだこウオーク準備作業集合は午前8時の予定。参加よろしくお願いします